

(様式1)

学校名	福島県立会津学鳳中学校	校長	加藤 知道
住所	会津若松市一箕町大字八幡字八幡1番地の1		
TEL	0242-22-3491	ホームページアドレス	http://www.aizugakuho-j.fks.ed.jp/

〈スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 大学研修〉

【取組の概要】

本校は平成22年度から「会津学鳳高等学校・中学校」として、スーパーサイエンスハイスクールに指定され、平成28年度から平成32年度まで2期目の指定を受けました。「会津から世界を変える科学者の育成～グローバル人材育成プログラムの開発～」を研究開発課題とし、科学技術者として必要な資質や能力を育成するために様々な取組を実践しています。

中学校では、高校で本格的に取組む課題解決型の学習に向けて、科学への興味関心を高めたり、世界や学問に対する視野を広げたりするために、第一線で活躍する研究者の講演を聴いたり、地元の高い技術を有する企業を訪問したり、また、SSH に取組んでいる高校生との交流などを行っています。そのような取組の代表的な一つが、各学年で行っている大学研修です。1学年では県内の身近な大学、2学年では近県の大学等、3学年ではより規模の大きい総合大学や難関大学と段階を踏んで実施しています。以下、その様子について、簡単にご紹介します。

【内容】

○1学年

《会津大学研修》

小惑星イトカワを3Dで可視化するソフトウェアや県内の企業が製作した部品、地球・月・火星の解析、宇宙塵を回収・分析するアストロバイオロジーについて説明を受けました。

《福島大学研修》

共生システム理工学類研究実験棟、うつくしまふくしま未来支援センター、総合情報処理センター等で大学院生から説明を受け、大学の先生から「福島県の沿岸漁業の復興に向けて！」の講義を受けました。学食も利用して大学の雰囲気を楽しみました。

○2学年

《新潟大学・新潟薬科大学研修》

新潟大学では、大学院生のサイエンスセミナー「アニメの外国への配給問題」「メダカを使って遺伝子を学ぼう」を受講しました。新潟薬科大学では大学の先生から「地球温暖化」について講義を受けました。

○3学年

《福島県立医科大学研修》

大学の先生から「免疫学の歴史～膠原病について」の講義を受け、スキルラボで腹腔鏡手術を体験したり、人体モデルにより聴診器を使って心臓の鼓動を聞き取ったりしました。

《東北大学研修》

機械知能航空工学科、電気情報物理工学科、科学・バイオ工学科、材料科学総合学科、人間・社会環境工学科の10の研究室にお世話になり、先生方や大学院生から説明を受け、実験器具にも触れることができました。

【生徒の感想から】

- ☆ 宇宙について興味がわいた。大学の楽しさや調べることに対する面白さを学んだ。(1年男子)
- ☆ 大学は自由である反面今まで以上に自己管理が大切だと思った。いろいろな学部や学科があり、とても充実した生活が送れる。自分の夢を実現することができる第一歩だと思う。(2年女子)
- ☆ 新しいものを生み出す難しさと楽しさを感じた。今まで夢の中のものだったものがあと少しのところまで来ているということに感動を覚え、今後は何ができるのだろうと興味をそそられる。(3年男子)



(東北大学研修の一コマ)

◇ 終わりに・・・

生徒たちは、大学研修を通して、最先端の学問に触れ、大学生活への具体的なイメージをもつことで、学習へのモチベーションを大いに高め、自己の進路をより具体的に模索するようになります。高校での本格的な SSH の取組を経て、自己の進路を実現し、会津から世界を変える科学者として育ててほしいと願います。